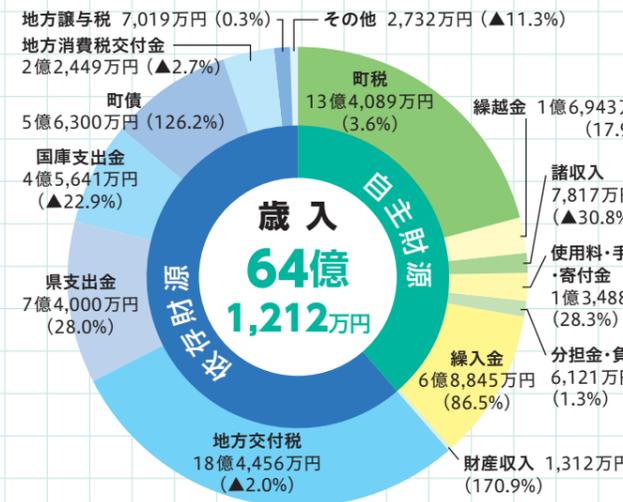
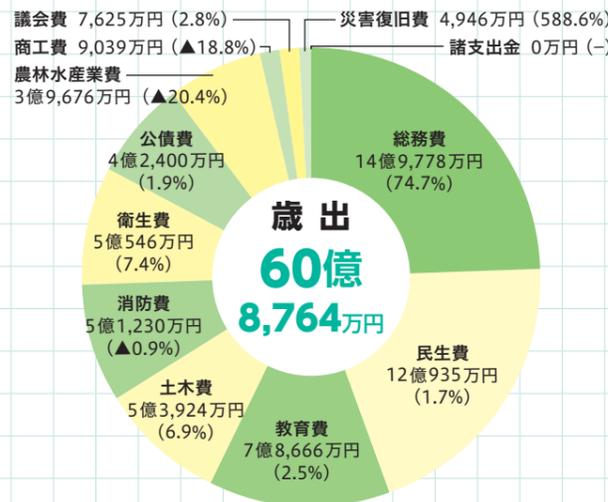


歳出の特徴

役場新庁舎整備事業などにより、歳出総額は増加しました。

半田沼ため池等放射性物質対策事業完了により農林水産事業費が減少しましたが、役場新庁舎整備事業による総務費の増加、令和元年度台風19号被災に伴う災害復旧事業費の増加により、歳出総額は増加しました。



歳入の特徴

自主財源は、24億8,615万円となり、歳入比率は2.3%増加しました。

国庫支出金は、半田沼ため池等放射性物質対策事業完了に伴い減少した一方、県支出金は、センサー選果機導入事業補助金により増加しました。また、繰入金は、庁舎建設基金からの繰入により増加。地方債は、庁舎建設に係る役場機能緊急保全事業債により増加しました。また、ふるさと納税寄附額が昨年度と比べて倍増したため、寄附金が増加しました。

性質別歳出内訳

32.5%	義務的経費 19億8,089万円
	人件費 9億8,065万円
	扶助費※1 5億7,527万円
24.7%	投資的経費 15億759万円
	普通建設事業費 12億3,871万円
	災害復旧事業費 2億6,888万円
42.6%	その他経費 25億9,916万円
	物件費 10億1,261万円
	繰出金※2 6億8,288万円
	補助費など 7億3,770万円
	その他 1億6,597万円

※1 児童・高齢者・障がい者・生活困窮者に対して支援に要するお金

※2 一般会計から他会計や各種基金へ繰り出すための経費

町民1人あたりの歳出決算額 (単位：円)

費目	決算額	対前年度増減額
総務費	128,246	55,829
民生費	103,549	3,138
教育費	67,357	2,521
土木費	46,172	3,575
消防費	43,865	205
衛生費	43,279	3,526
公債費	36,304	1,169
農林水産事業費	33,972	▲8,126
商工費	7,739	▲1,663
議会費	6,529	263
災害復旧費	4,235	3,628
諸支出金	0	0
合計	521,247	64,066
町民1人あたりの町税負担額	114,812	5,471

※令和2年3月31日現在の住民基本台帳人口11,679人をもとに算出

令和元年度 桑折町の

決算

決算は、皆さんが納付された税金や、国・県からの補助金・交付金などがいくら入ってきて、どのように使ったかを明らかにするとともに、町の1年間のおゆみ・記録となるものです。令和元年度の決算を報告します。

令和元年度は、町総会計画「献上桃の郷こおり創生プラン」の中間年であり、さらに、復興・創生期間終了前の重要な年になることから、計画の着実な推進はもとより、「シティプロモーションの推進」「子どもを大切に育てる教育の町」「健康と福祉の町」など、6項目を重点施策として掲げ、「住んで良かった」「住んでみたい町桑折」の実現を目指し各種事業を実施しました。

その結果、歳入総額64億1,212万円(前年度比12%の増)、歳出総額60億8,764万円(前年度比12・5%の増)、歳入歳出差引額は、3億2,448万円となりました。このうち、翌年度へ繰り越すべき事業の財源

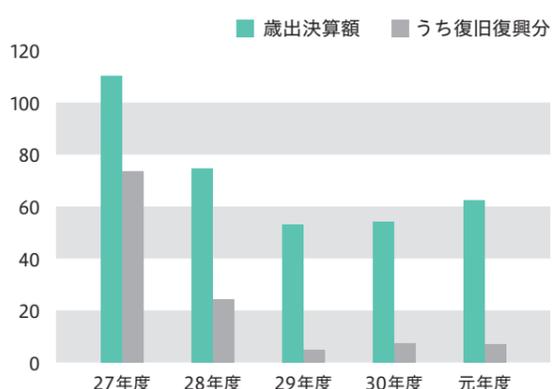
1、404万円を差し引いた3億1,044万円が剰余金となり、決算は黒字でした。剰余金のうち、1億6千万円を財政調整基金に積み立て、残り1億5,044万円を翌年度に繰り越しました。予算の執行にあたっては、事業の重点選択と諸経費の節減・合理化を図り、国および県などの特定財源を確保しながら、財源の重点的かつ効果的な配分を行い、健全な財政運営に努めました。



用語の説明

- 【一般会計】** 福祉や教育・土木といった一般的な事業に使われ、町の事業の基本となる会計
- 【自主財源】** 町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金
- 【依存財源】** 地方交付税など、国や県の意思によって額が決められ、割り当てられるお金
- 【町税】** 町民の皆さんが町に収める税金
- 【繰入金】** 各種基金や他会計から一般会計へ繰り入れるお金
- 【地方交付税】** 自治体の財政力に応じ、国から交付されるお金
- 【国庫・県支出金】** 特定の目的のために国や県から交付されるお金
- 【町債】** 国や銀行などからの借入金
- 【公債費】** 町債の返済に使うお金

歳出決算額の推移 (単位：億円)



特別会計決算

会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	13億8,645万	13億4,427万	4,218万
後期高齢者医療	1億6,634万	1億6,622万	12万
介護保険	15億9,748万	15億5,953万	3,795万
公共下水道事業	2億7,660万	2億7,238万	422万

水道事業会計

会計区分	歳入	歳出	差引額
収益的収支	4億2,251万	3億3,730万	8,521万
資本的収支	698万	8,336万	▲7,638万

※資本的収支の不足額7,638万円は、留保資金および地方消費税資本的収支調整額などで補てんしました。

各種基金の残高 (令和元年度末)

会計区分	基金名	残高
一般会計	財政調整基金	8億4,655万
	減債基金	1億3,373万
	庁舎建設基金	6億5,048万
	その他特定目的基金	6億7,927万
	土地開発基金	1億2,015万
	その他定額運用基金	7,574万
合計		25億592万
国民健康保険	国民健康保険基金	7,409万
介護保険	介護給付費準備基金	1億1,657万

令和元年度 町財政の
『健全化判断比率』
『資金不足比率』
『経常収支比率』

実質公債費比率、将来負担比率ともに基準値内であり、
財政の健全性が保たれている 状況です。

(単位：%)

区分	29年度	30年度	元年度
健全化判断比率	実質赤字比率 (15.0)	-	-
	連結実質赤字比率 (20.0)	-	-
	実質公債費比率 (25.0)	11.6	11.4
	将来負担比率 (350.0)	7.4	3.6
資金不足比率 (20.0)	水道事業会計	-	-
	公共下水道事業特別会計	-	-
経常収支比率	89.6	89.9	89.6

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、および資金不足比率は、赤字や資金不足になっていないため「-」で記載しています。()内は早期健全化基準。これを超えた場合、財政健全化団体(黄信号)として、自主的・計画的な改善が義務付けられます。

※1 債務負担行為… 契約などで将来にわたり支払いを予定すること

※2 基金… 特定の目的のために資金を積立、定額の資金を運用するための財産

※3 標準財政規模… 地方自治体が標準的な行政活動を行う上で通常見込まれる一般財源(使途の特定がない)の規模【桑折町はおおむね35億円】

財政健全化法に基づく指標として、健全化判断比率、資金不足比率がありますが、そのうち、実質公債費比率、将来負担比率は基準値内であり、公営企業(水道・公共下水道事業)会計の資金不足比率も資金不足がないことから、財政の健全性が保たれています。実質公債費比率は、土地開発公社に係る債務負担行為※1の変更や税収入の増加などにより1.0ポイント減少しました。将来負担比率は、新たな債務負担行為の設定がなく、退職手当負担見込額も減少したものの、新庁舎建設による基金※2取り崩しが進んだことなどから10.8ポイント増加しました。

実質公債費比率

一般会計などが負担する地方債償還金(借金の返済)の標準財政規模※3に対する割合の3か年平均値。町が年間どのくらいを借金返済に充てているかを指標化したもの。家計に例えれば、借金返済額の年収に占める割合。

将来負担比率

一般会計などが将来負担する実質的負債の標準財政規模※3に対する割合。将来負担見込額から基金※2などを控除したものが年間収入の何%に相当するかを指標化したもの。家計に例えれば、借金残高の年収に占める割合。

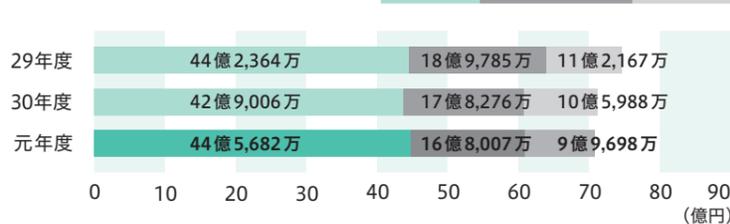
経常収支比率

経常的経費(人件費や扶助費など)の経常的に収入される一般財源に対する割合。財政構造の弾力性を指標化。比率が低いほど新規事業に充てられる。家計に例えれば、生活費など固定費の給料に占める割合。元年度県市町村平均は90.0%。

町債の状況

町債残高は、実質公債費比率、将来負担比率に大きく関わってきます。右のグラフは、過去3年間の各会計の推移です。

残高の推移



令和元年度末 町債などの残高 (単位：円)

会計区分	H30年度末残高(A)	R元年度借入額(B)	R元年度償還元金(C)	R元年度末残高(A)+(B)-(C)	
町債	一般会計	42億9,007万	5億6,300万	3億9,625万	44億5,682万
	公共下水道事業特別会計	17億8,276万	5,220万	1億5,490万	16億8,007万
企業債	水道事業会計	10億5,988万	-	6,290万	9億9,698万

令和元年度
主な使いみち

「献上桃の郷こおり創生プラン」に基づき、健全な財政を保ちながら、桑折町らしい町づくりに取り組みました。重点プロジェクトと5つの基本構想別に、主な事業を紹介します。

重点プロジェクト (単位：万円)

質の高いモモ生産に向けた農家支援	16,294
町振興公社の組織強化支援事業	1,180
楽天イーグルス「桑折町デー」協賛事業	474
献上桃の郷こおりシティブロモーション事業	317
観光誘客プロモーション事業	977
国道4号IC周辺の土地利用検討と企業誘致	389
史跡桑折西山城跡整備事業	3,763
万正寺の大カヤ周辺整備事業	665
桑折西山城復元祭事業	740
役場新庁舎建設事業	68,108

I. 魅力的で活力ある 地域社会の創生

農林業振興(有害鳥獣対策事業、ふくしま森林再生事業、「ふくしまプライド。」販売力強化支援事業など)	10,448
商工業振興(空き店舗対策事業、プレミアム付商品券事業、商店街活性化事業など)	276
観光交流(献上桃の郷BBQフェス事業、半田山山開き事業、在京桑折会事業など)	2,949
土地利用(役場現庁舎敷地および周辺公有地活用検討など)	19
都市緑化と景観(公園・緑地維持管理事業)	1,265
移住・定住(若者定住促進事業、移住希望者向けお試し住宅整備事業、新婚世帯家賃支援事業など)	2,013

II. 健やかで希望に満ちた 暮らしの確立

結婚・子育て支援(ネウボラ事業、乳児全戸訪問事業・乳幼児訪問指導事業など)	8,966
健康と医療(メタボ予防運動教室・仲間づくり教室、がん検診事業、予防接種事業など)	15,130
地域福祉(地域福祉計画策定業務委託、ふれあいデイサービス事業委託など)	2,173
高齢者福祉(高齢者等福祉タクシー利用券給付事業、高齢者運転免許証自主返納支援事業、敬老会事業など)	3,830

III. 安全安心で住みやすい 生活環境の構築

消防・防災(女性消防操法全国大会出場事業、屋外スピーカー放送設備整備事業、水路新設改良事業など)	24,818
生活安全(防犯灯LED更新工事、交通安全対策事業など)	669
環境衛生(除去土壌搬出・仮置場解体除染関連事業、一般廃棄物収集運搬業務委託など)	32,280
環境共生(桑折地区かわまちづくり計画事業、住宅用再エネ設備設置補助事業など)	1,065
総合交通網(町道新設改良事業、町道など維持管理事業、公共交通検討事業など)	11,532
居住環境(空家対策事業、安全安心耐震促進事業、合併処理浄化槽設置整備補助事業など)	872
水道(水道施設整備事業補助金)	199

IV. 志高い人材を育む 学びの醸成

乳幼児保育と教育(保育所管理運営事業、幼稚園管理運営事業、幼稚園入園祝品(制服)支給事業など)	16,712
小中学校教育(ICT環境整備事業、英語教育の充実、学校給食の保護者負担軽減など)	18,298
生涯学習(公民館事業、社会教育施設維持管理業務、図書活動事業など)	3,413
生涯スポーツ(自主的スポーツ活動支援、イコーゼ水泳教室開催、夏期巡回ラジオ体操開催事業など)	1,265

V. 計画推進に向けた取り組み

住民自治の活性化(住民自治協議会運営交付金交付事業、行政連絡員連合会事業補助金)	252
行政機能の強化(窓口業務の充実、人事評価制度運用支援業務、政策推進アドバイザー設置事業など)	2,916
健全な財政運営(ふるさと納税関連事業、町税などコンビニ収納・口座振替利用促進など)	2,781
広報・広聴の充実(広報こおり発行・町ホームページ運用管理業務、まちづくり懇談会の開催など)	536

令和2年度

一般会計上半期予算状況

今年度の当初予算総額は73億7,210万円でしたが、その後の予算補正により9月末の予算現額は、**89億9,247万円**となりました。

予算補正の主なもの (全て新規事業、単位：円)

▶ 特別定額給付金給付事業	11億7,350万
▶ 桑折町学びのICT環境整備事業	1億3,474万
▶ 地域活性化商品券発行事業	6,245万
▶ 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	1,451万